

クサビ足場 規格混在ゼロ運用マニュアル（現場版）

■ 対象：くさび緊結式足場（住宅～中低層建築）

■ 更新： 年 月 日（法改正・仮設工業会技術指针对応）

1. 規格混在のリスク

クサビ足場にはセンチ規格（1800mm、1500mm など）とインチ規格（1829mm、1219mm など）の2種類が存在します。見た目が非常に似ているため、現場での混在は以下のような重大事故を引き起こすおそれがあります。

- ・ 緊結部のズレによる踏板の脱落
- ・ 手すりや布材のガタつき
- ・ 転落・落下物事故の発生
- ・ 是正・再組立による工期遅延とコスト増

2. 混在防止の3ステップ

混在を防ぐには、入庫→搬入→現場実測の3段階で確認を行います。

工程	実施内容	チェックポイント
① 倉庫入庫時	メーカー別に棚を分け、ラベル色で規格を区別。	・ センチ=青／インチ=赤 ・ 出庫前に棚番号を確認
② 現場搬入時	納入書と部材刻印を照合し、受入検査表に記録。	・ 支柱・手すり・布板の3点を実測 ・ 1829mm 部材混入なしを確認
③ 組立前1スパン実測	代表スパンを仮組みし、緊結部位置を確認。	・ 緊結ズレ 0mm で合格 ・ ズレがあれば即再確認

3. 運用ルールと書類管理

- ・ 受入検査表：搬入ごとに記録し、写真添付可。
- ・ 棚ラベル・バーコード：規格別に色とコードを分けて管理。
- ・ 混入発覚時の対応：該当区画の使用停止→再確認→是正報告書を提出。

4. 教育・周知

混在防止は全員の意識が重要です。新人教育・TBM で以下を周知してください。

- ・ センチ／インチの違いを説明
- ・ 実測確認の重要性を共有
- ・ 混在発覚時の報告ルートを明確化

5. まとめ

混在ゼロ運用の鍵は「倉庫」「搬入」「現場」の三段階確認です。小さなズレが大きな事故につながることを忘れず、常に確認と記録を徹底しましょう。

※ 法令根拠：労働安全衛生規則 第540条～第563条／仮設工業会 技術指針 2025年版。